

教科(科目)	公民(公共)	単位数	2単位	学年(コース)	2学年（全クラス）
使用教科書	実教出版 『公共』				
副教材等	実教出版 詳述公共 演習ノート				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

～卒業までにこのような資質・能力を育みます～

- ① 主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。
- ② 生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。
- ③ 国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～

- ① 共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。
- ② 工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。
- ③ 将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。

2 学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3 指導の重点

- ① 教科書にでている基本的な用語をしっかりと理解させる。
- ② 基本的な知識を踏まえたうえで、現代社会の実態がどうなっているかを考察できる力を身につけられるようにする。
公共はA 公共の扉、B 自立した主体として国家・社会の形成に参画し他者と協働するために、C 持続可能な社会づくりの主体となるために、の大きく3つに分かれ、それぞれ現実の社会の姿とその問題点を探求できるようになっているので、資料集や実際の出来事を随時活用するようにする。時間に余裕があれば、生徒たちに討論もさせてみたい。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 基本的な用語をしっかりと理解し覚えている。現代社会の実態を新聞やインターネットなどの情報から、また教科書の表やグラフから読み取れている。	・ 現代社会の実態から、そこに存在する課題を自分なりに見つけだし、適切な意見をもてる。また、他者にわかりやすく自分の意見を伝えるように工夫している。	・ 積極的に社会的課題を見つけ、研究し、解決策を提案している。多文化共生社会の実現のために何が必要で何が課題かを考察している。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次とおりです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業時の様子 ・ 小テスト ・ 定期考査 ・ 課題提出 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業時の様子 ・ 小テスト ・ 定期考査 ・ 課題提出 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業時の様子 ・ 課題提出 などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名・教材	主な学習領域	学習活動（指導内容）	評価の観点	時間	評価方法
4 ・ 5	第1部 ・ 公共の扉 教材：教科書等	○公共的な空間を作る私たち ○公共的な空間における人間としての在り方 生き方 ○公共的な空間における基本原理	・ 倫理的主体としての基本原理を学習する。 （先人の取り組みや知恵、行為の善さ、多面的・多角的な思考、民主主義の基本原理）	abc	10	定期考査 提出物 授業の取組
5 ・ 6 ・ 7	第2部 ・ 自立した主体として国家・社会の形成に参画し、他者と協働するために 教材：教科書等	○政治的主体となる私たち ○経済的主体となる私たち	・ 法や規範の意義及び役割について学ぶ。 ・ 政治参加と公正な世論の形成・地方自治、国家主権・領土、我が国の安全保障と防衛について学ぶ。 ・ 国際貢献を含む国際社会における我が国の役割を考察する。	abc	16	定期考査 提出物 授業の取組
9 ・ 10 ・ 11	第2部 ・ 自立した主体として国家・社会の形成に参画し、他者と協働するために 教材：教科書等	○法的主体となる私たち	・ 経済の基本知識を学習する。 ・ 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きについて学ぶ。	abc	20	定期考査 提出物 授業の取組
11 ・ 12 ・ 1	第3部 ・ 持続可能な社会づくりの主体となるために 教材：教科書等	○様々な情報の発信・受信主体となる私たち	・ 世代間協力・交流、自助・共助・公助等による社会基盤の強化について学習する。 （新聞の記事も利用する） ・ 司法参加の意義、多様な契約及び消費者の権利と責任、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりについて学ぶ。	abc	14	定期考査 提出物 授業の取組
1 ・ 2	第3部 ・ 持続可能な社会づくりの主体となるために 教材：教科書等	○国際政治の変化 ○国際経済の動向と国際協力 ○共に生きる社会をめざして	・ 現在の国際政治の状況を把握しつつ、主権や国際政治などの諸問題を学ぶ。 ・ 現代の経済状況を把握しつつ、貿易や為替などの国際経済の基本知識を学習する。 ・ 多文化共生社会を実現させるために必要な個人の在り方生き方について考察を深める。	abc	10	定期考査 提出物 授業の取組

計 70 時間(50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・ 単元の内容に沿った課題を提示するので、その都度提出することになる。
- ・ 興味のある課題について、レポートを提出することになる。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示する。

8 担当者からの一言

『公共』には地歴・公民科の基礎的事項が多く含まれているので、中学校で習ったことを思い出しながら、基本的な知識（用語）をしっかりと理解し覚えるとともに、現在の社会に関心を持ち、日常的に考える態度を持ってほしい。